

富士山六番ブナ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 静岡森林管理署
所在地	静岡県富士宮市
面積	6.17ha
設定年	平成3年(設定)、平成30年(名称変更)
保護林の概要 (設定目的)	標高 1,000m～1,100m の富士山の低山帯植生を代表するブナ、カエデ等の落葉広葉樹を主体とする天然林で、富士山の植生の垂直分布を知る上で貴重である。このため、ブナとカエデ等の落葉広葉樹が混在する群落の希少な個体群を保護するため設定した。



保護林内の状況



シカ柵内外の植生

モニタリング調査概要

実施年度	平成21年、平成26年、平成31年、令和6年
調査項目	資料調査、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として、ブナの生育地において調査プロットを合計2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用した。
結果概要	林相等に大きな変化はまだみられないものの、ニホンジカの採食圧による影響で下層植生が減少しており、保護対象種であるブナの稚樹や実生が少ない状況で、ブナの更新への影響が懸念される。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。